



2018年11月 26日
第 58号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情報部

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



新たな営業施策の提案を受けました!

提案内容

1、実施内容

駅遠隔操作システムの導入と出札の閉鎖

<1>導入駅

- ①小机駅 (改札) 早朝の一部時間帯に遠隔操作システム導入、制御駅は菊名駅
(出札) 閉鎖 (2019年1月31日の営業終了をもって閉鎖)
- ②関内駅 (南口) 早朝の一部時間帯に遠隔操作システム導入、北口から制御
- ③石川町駅 (中華街口) 早朝の一部時間帯に遠隔操作システム導入、元町口から制御

2、周知・教育

必要な周知・教育は実施する。

3、実施日

2019年 4月 1日

4、標準数の変更

- ①小机駅 (営業) 7 → 6 Δ1
- ②関内駅 (営業) 28 → 27 Δ1
- ③石川町駅 (営業) 16 → 15 Δ1



【提案時の会社の考え】

- 施策の目的は、効率的な業務執行体制の構築である。
- 安全面と働きがいの向上については、会社としても取り組んでいく。
- 遠隔操作システムの稼働時間は、初電から7時前後とする。
- 小机駅の窓口廃止に伴い、MV50を新たに1台導入していく。
- 小机駅の窓口廃止に伴い、乗務員の対面点呼ができなくなる。運輸部を通して相模原運輸区には周知を図っていく。(時期は3月で調整中)
- 遠隔操作システムの工事は、12月中より準備を行っていく。これまでと同様にラッチ内外にインターホンをつけていく。
- 制御(駅)から被制御(駅)への情報提供は勉強会等で周知を行っていく。
- 管理駅、被管理駅の考え方は変わらない。
- 関係学校等に説明を行うのはやぶさかではない。

働きがいのある営業職場の将来に向けて
関係職場の組合員の皆さんと連携していきます